

作品 DESIGN

[病院のデザイン] ～ 洛西シミズ病院 回復期リハビリテーションセンターの サインデザイン、ディスプレイデザイン、インテリアコーディネーション Hospital Design —

Sign Design, Display Design and Interior Coordination of the Recovery Phase Rehabilitation Ward of Rakusai Shimizu Hospital.

Masashi Kusuda 楠田 雅史 Yoko Takiguchi 滝口 洋子 Akihisa Tatsumi 辰巳 明久 Ichiro Funakoshi 舟越 一郎



リハビリテーション室 全景

京都市立芸術大学 ビジュアルデザイン専攻では、医療法人 清仁会シミズ病院からの依頼をうけて、『洛西シミズ病院 回復期リハビリテーションセンター新築工事』におけるデザイン全般のアートディレクションを担当した。当初は、新病棟の環境装飾に関してのみの依頼であったが、病院側との様々なミーティングを重ね、回復期におけるリハビリテーション医療の現場においては、装飾のみならず、患者の気持ちに寄り添った院内空間全体の環境デザインこそが不可欠という共通認識を持つに至った。

設計・施工担当のダイワハウス工業と連携し、ビジュアルデザイン研究室教員とビジュアルデザイン修士1年の学生3名により実施設計プランを全面的に見直すところからスタートした。サインシステムデザインの構築、それに伴う各階ごとの色彩計画の立案から素材指定まで。更に、什器・備品全ての選定、環境演出のための絵画制作に至る、トータルコーディネートを行うことから『病院のデザイン』の一例を構築できたと考える。





全館サイン計画・タイポグラフィデザイン



各階の色彩計画

全館絵画装飾



エントランス・EVホール装飾（季節毎のイメージ絵画・5景） - 春 -



各階装飾（イメージ絵画・全30点）



ロビー装飾絵画（寄木細工による洛西風景）



シミズ病院本館への連絡通路装飾（イメージ絵画・全10点）



病棟廊下装飾絵画



リハビリテーション室
和室襖絵